

仙人ヶ岳山行報告

【山行日】2023年 2月23日(木) 晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 7:00
【費 用】マイカー2台 : 700円
【メンバー】CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬 大塚、
小林、嶋田、鈴木ミ、関、福島、藤原ト、藤原フ
【コースタイム】岩舟支所P7:00=岩切P8:00/8:15~
生満不動尊 8:50/9:00~熊の分岐 9:35/9:40~
仙人ヶ岳 10:00/10:10~熊の分岐 10:30~
犬返し 11:20/11:40~知ノ岳 12:00/12:40~
猪子峠 13:10~岩切 P13:30/13:40=
岩舟支所P14:45



2月19日の諏訪岳～唐沢山に登った際に、23日の天皇誕生日に何処か山行を計画してくださいと要望があった。何処に登ろうか迷ったが、我輩が好きな仙人ヶ岳を計画し皆さんに案内を送った。急な案内にもかかわらず大勢の参加申し込みがあり、10名での賑やかな山行となった。岩舟支所を7時に出発し、登山口にトイレが無いので葉鹿町のコンビニでトイレを済ませる。岩切の駐車場に車を止め、出発の準備をしてストレッチを済ませ出発する。道路を左に進み橋を渡ると仙人ヶ岳登山口の標識があり、標識に従って左に川沿いの道を進む。しばらく川沿いの広い道を進み、丸太の橋を渡ると登山道に登るようになる。ここからは沢沿いの狭い道に登るようになり、沢を左右に渡りりながらのプチ沢登りで楽しい。雑木林の沢は明るく、沢の水も澄んでいて気持ちが良い登りが続く。しばらくして不動滝の分岐に出るが、滝には下りず右の岩場をクサリを頼りに登って行く。滝を左に見下ろしながら進み、沢床を左右に渡りながら流れに沿って登って行く。やがて沢が少し広く開け、やや平坦な道になると生満不動尊に着く。小休止して衣服調整と水分補給を行い、さらに沢を詰めて行く。水流がほそくなりなって広い涸れ沢を歩くようになると、右に大きく曲がって急坂を登り、登り切った尾根上で熊の分岐に出る。熊の分岐で休憩し、足を休め呼吸を整えたら左に仙人ヶ岳に向かう。ここからは稜線上に登るようになり、展望を楽しみながら爽やかに歩ける。アップダウンを繰り返しながら稜線上を進み、赤雪山への標識を過ぎると間もなく仙人ヶ岳山頂に着く。



山頂は明るい樹林の台地で、大きな山頂標識と三角点が置かれている。山頂標識前で記念写真を撮り、リンゴや菓子を食べて疲れた足を休める。休憩したら熊の分岐まで戻り、分岐を直進して稜線上を進む。小さなアップダウンを繰り返しながら尾根上を進み、561mの宗ノ岳から振り返る仙人ヶ岳の姿が美しい。展望が良い小ピークと露岩のヤセ尾根を越え、一旦下って松の木が多い岩尾根を進むと、本日一番の難所「犬返し」のクサリ場に出る。高度差は10m足らずの岩場でクサリが付いているが、垂直に切れ落ちた岩場は高度感がありかなり手強い。我輩が先に降りて下からスタンスを指示し、一人ずつ慎重に降りて行く。時間は掛かったが全員無事下り、露岩のヤセ尾根を気持ちよく歩いて行く。展望が良く左下に松田ダムを見下ろし、ダムの向こうには赤雪山が見渡せる。ここから知ノ岳までの稜線は本コース中随一の展望で、赤城山や榛名山、袈裟丸山等の眺望を楽しみながら歩ける。東尾根分岐で昼食の予定だったが、12時になったので知ノ岳でランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作りおにぎりやパンをいただく。



ランチが済んだら下山開始し、猪子峠に向かって出発する。2度ほどアップダウンを繰り返すと東尾根分岐に出て、ここは右に下って行く。平坦な道を下ると樹林帯の中を下るようになり、薄暗い杉林の道を九十九折れに下ると猪子峠に着く。ここは十字路になっており直進すると深高山へ、左に行くと松田側の登山口へ行き、岩切登山口へは右に進む。谷間のスギ林の中を進み、橋を渡って道路を左に進むと10分程で岩切登山口の駐車場に着く。靴を履き替えたら車に乗り、葉鹿町の「とりせん」に寄ってトイレを済ませる。主婦たちはついでに買い物をして、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。



靴を履き替えたら車に乗り、葉鹿町の「とりせん」に寄ってトイレを済ませる。主婦たちはついでに買い物をして、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。

靴を履き替えたら車に乗り、葉鹿町の「とりせん」に寄ってトイレを済ませる。主婦たちはついでに買い物をして、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。